

「ジャパン インターナショナル ボートショー 2019」には、日本水路協会のブースが出展されます(画像はイメージ)

3月7日(木)～10日(日)の4日間、今年も「ジャパン インターナショナル ボートショー」が横浜で開催されます。日本水路協会では、パシフィコ横浜会場に展示ブースを設置。例年以上に盛りだくさんの内容で皆さまをお待ちしています。その内容について、一足先に誌面でご紹介しましょう。

航海用電子参考図「ニューベック(new pec)」は、パソコン版のみならず、各種航海機器のマップデータとしての活用が進み、さらにはモバイルアプリ版(ニューベックスマート)も登場し、「ニューベックファミリー」として、ますます多くのユーザーに親しまれています。

ブース内には「ニューベックファミリー」の特設コーナーを設置。イーチャート、日本無線、FUSOエレクトロニクスの3社のニューベック搭載機器が展示されるほか、昨年末から新しくニューベックファミリーに加わったヤマハ発動機の2機種も並ぶ予定となっています。

また、このコーナーには、マップル・オンのモバイルアプリ「ニューベックスマート」もラインアップ。アプリを使うためのモバイル端末である、スマートフォン(iPhone)とタブレット(iPad)を用意しています。さらにパソコン版のコーナーもあり、航海機器、スマホ&タブレットも含めて、ニューベックファミリーのツールを、実際に「見て」

「触って」「感じる」ことのできる貴重な機会となることでしょう。

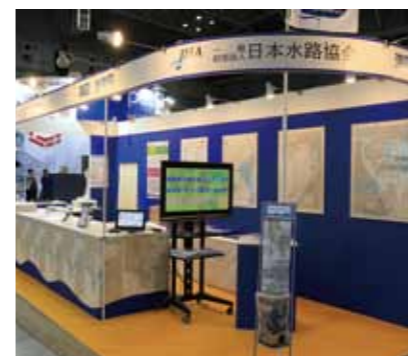
また、日本水路協会ブースでは、「ニューベック・アンバサダー」のカーク・パタソンさんが、ボートショー期間中を通して常駐しています。ビジネスマンとして日本で約25年間暮らした後、2012年に母国であるカナダからヨットで日本を目指し、1人で太平洋横断を行ったカークさん。その後、外国人としては初の日本一周を達成しましたが、その航海を支えていたのがニューベックであり、実際の使い勝手など、ニューベックに関するさまざまな質問に答えてくれるはず。カークさんは、日本語堪能ですので、ご安心ください。

国際ボートショー会場で ニューベックを体感しよう! 日本水路協会ブースの見どころをチェック!

JAPAN
INTERNATIONAL
BOAT
SHOW
2019

(一財)日本水路協会が発行する航海用電子参考図「ニューベック」。各種船用機器のマップデータとして導入されるほか、スマホ&タブレット向けアプリも登場し、「ニューベックファミリー」として多くのユーザーに認知されている。今月は、3月7日(木)～10日(日)に開催される「ジャパン インターナショナル ボートショー 2019」に出展する日本水路協会のブースの見どころを紹介します。

広がる
ニューベック
ファミリー



上:海図の販売のみならず、さまざまな相談にお答えするコーナーも設置します(写真は昨年のももの)
左:ボートショー期間中は、日本水路協会のブースにて、ニューベック・アンバサダーのカーク・パタソンさんが、さまざまな相談に乗ってくれます

また、日本水路協会ブースには、海図などの販売・相談コーナーも設置します。海図はもちろんのこと、日本水路協会発行の「Yチャート」、「Sガイド」など、航海の安全を支えるさまざまなツールについて、スタッフがなんでも相談にお答えします。

ボートショーでは、ぜひ日本水路協会のブースへお気軽にお立ち寄りください。

見て、触って、感じよう! ニューベックファミリー

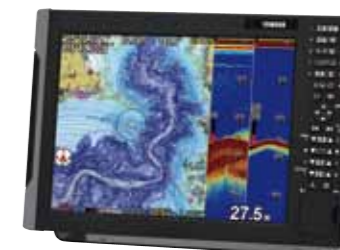
ブース内のニューベックコーナーには、イーチャート、日本無線、FUSOエレクトロニクス、ヤマハブランドのニューベック搭載製品と、マップル・オンのモバイルアプリが展示されます。いずれも、実際に見て、触って、感じることができるので、実際に使い勝手を確かめていただけるでしょう。あなたのマリンライフを支えるパートナーが、ボートショー会場ですぐ見つかるはず!



日本無線は、ニューベック対応プロッター「JLZ-1000」(写真)のほか、船舶用レーダー「JMA-3400シリーズ」を参考出展の予定



イーチャートは、GPSプロッター魚探のNFシリーズから「NF100」(写真中央)を展示予定



ヤマハブランドのGPSプロッター魚探「YFH12」(写真)と「YFH09W」の2モデルも、ブース内に登場



FUSOエレクトロニクスは、GPSプロッター魚探「FEシリーズ」を展示する予定だ



マップル・オンのモバイルアプリ「ニューベックスマート」も、ブース内で実際に触って体感することが可能だ

カーク・パタソンさんが「海ゼミ」の講師として登場!

昨年ボートショー期間中に催され、大好評を博した「海ゼミ」。マリンレジャーに関するさまざまな分野について、ここでしか聞けないとっておきの講座が、パシフィコ横浜の会場内で実施されます。

今年は、3月8日(金)の14:00～15:00に、ニューベック・アンバサダーのカーク・パタソンさんが、昨年に続いて講師として登場。太平洋横断と日本一周のあれこれ、さらには現在挑戦中の「日本2周目クルージング」の話、そしてニューベックの活用事例など、「クルージングのこぼれ話」と題してお話いただけます。

参加料は無料で、参加申し込みは事前予約制となっており、2月5日から、ボートショーの公式ホームページ内(<https://www.marine-jbia.or.jp/boatshow2019/events/umizemi/>)から予約可能。本講座の事前予約者には、特典として「ニューベックスマート利用プラス30日無料クーポン」を贈呈します。



ニューベックスマートが沿岸小型船舶用の法定備品に!

ニューベック(パソコン版)は、2010年7月に、国土交通省から「沿岸を航行する小型船舶が備えるべき参考図」として指定を受けています。海岸から5海里までを航行する「沿岸区域」の小型船舶であれば、法定備品として搭載を義務付けられている「海図」を、「航海用参考図ニューベック」で代用することができるというものです。そしてこのほど、ニューベックのモバイルアプリ版である「ニューベックスマート」が、沿岸小型船舶に備える海図の代替として日本小型船舶検査機構が定めている要件を満たしていると認定される見通しとなりました。その他のニューベック関連製品についても、引き続き、認定に向け要望していくとのこと。航海ツールとしての信頼が高まっています。



ニューベックスマートは、AIS情報の表示も可能になっている

航海用電子参考図「new pec」

JHA (一財)日本水路協会

ニューベックファミリー

